



NEWS RELEASE



平成 18 年 4 月 20 日

各 位

会 社 名 日本新薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 初山 一登
コード番号 4516 (東証・大証各一部)
問い合わせ先 広報部長 由良 能郎
(TEL 075-321-9103)

日本新薬とバイエル薬品がアレルギー性鼻炎治療剤 「バイナス[®]錠」の国内販売で提携

バイエル薬品株式会社(本社:大阪市、社長:栄木憲和)は、販売中のアレルギー性鼻炎治療剤「バイナス[®]錠」(一般名:ラマトロバン)の日本国内での販売権を、日本新薬株式会社(本社:京都市、社長:初山一登)に譲渡することで合意いたしました。この販売権の譲渡は、今年7月1日付けで実施されます。

バイナス[®]錠は、アレルギー性鼻炎の原因となるプロスタグランジン D₂ と トロンボキサン A₂ の受容体を拮抗阻害する医薬品で、2000年5月にバイエル薬品により新発売され、昨年の売上は30億円(薬価ベース)でした。

バイエル薬品は、事業戦力を、その強みである CVRM 製品(注1)に集中し業務のさらなる効率化を図るとともに、新製品の発売に備えます。また、日本新薬は、重点領域の一つである炎症・アレルギー領域の品揃えを強化し、耳鼻科、内科におけるアレルギー性鼻炎関連製品の売上拡大と活動効率向上を図ります。

「バイエル薬品が推し進める CVRM 製品への「選択と集中」の戦略の中で、今回の決定は製品戦略上、重要な意味を持ちます。また、アレルギー性鼻炎治療薬として広く使用されているヒスタミン H₁ 受容体拮抗薬を持つ日本新薬株式会社に、バイナス[®]錠の販売を手がけていただけることは、バイエル薬品にとって大変有意義なことです」と、バイエル薬品社長、栄木憲和は述べています。

「日本新薬は、アレルギー性疾患治療剤として抗ヒスタミン剤のリボスチン[®]点眼剤・点鼻剤を販売していますが、今回、経口抗アレルギー剤であるバイナス[®]錠を加えることにより、アレルギー性鼻炎の様々な症状に対応可能となりました。将来的には、現在、第 Ⅲ 相試験を実施中のステロイド点鼻剤もラインアップに加え、今後、この領域での学術宣伝活動をさらに強化します。」と、日本新薬社長、初山一登は述べています。

現在、バイエル薬品が杏林製薬と行っているバイナス[®]錠の併売は、今年7月1日付けで、日本新薬と杏林製薬の併売となります。製造は引き続きバイエル薬品が行ないます。

注1：CVRM (CardioVascular Risk Management) とは、脳卒中、心筋梗塞の危険因子をできる限り下げることがを意味し、その目的に製品化された薬剤を CVRM 製品と呼んでいます。バイエル薬品は、高血圧、糖尿病、血栓症に対する製品群を揃え、さらに高脂血症や高リン血症などの危険因子についてもポートフォリオを充実させていきます。

バイエル薬品について

バイエル薬品は、バイエルヘルスケア社のグローバルな事業の一翼を担い、日本市場における医療用医薬品と一般用医薬品の輸入・製造・販売を行っています。バイエル薬品は革新性と創造性を発揮し、人々の健康に貢献するヘルスケア・カンパニーの構築を目指します。

バイエル薬品ホームページ：<http://www.bayer.co.jp/byl/index.html>

日本新薬について

日本新薬は、医療用医薬品と食品の輸入・製造・販売を行っています。医薬品部門は、血液がん、泌尿器系、炎症・アレルギー系疾患を研究開発の重点領域とし、食品部門はダイエット素材など健康食品素材に注力しています。

日本新薬ホームページ：<http://www.nippon-shinyaku.co.jp>

[お問合せ先]

バイエル薬品株式会社 広報 島崎

TEL 06-6398-1036 FAX 06-6398-1033

日本新薬株式会社 広報 由良

TEL 075-321-9103 FAX 075-321-9128

以上